

資料提供

令和4年3月10日

所 属：広島県立広島特別支援学校 商工労働局医工連携推進PT
担 当 者：教頭 岩原 担当課長 井上
内 線： - 3351
直通電話：082-843-1811 082-513-3351

～ 広島県立広島特別支援学校の協力のもと県内企業が開発 ～ 株式会社ユニコーン 視線で操作する「ボッチャ」ランプ (勾配台)の寄贈について

令和4年3月16日(水)15:00～ 広島県立広島特別支援学校 1階 総合教室

障害者スポーツ「ボッチャ」で用いるランプ(投球装置である勾配台)の操作を、競技者が視線等によりコントロール(方向、リリース位置)できるように開発・製品化した株式会社ユニコーン(広島市安佐南区)から、試作評価に協力した広島県立広島特別支援学校(広島市安佐北区)に対して、製品1号機をご寄贈いただくことになりました。

つきましては、次のとおり、3月16日に同校において寄贈式を行いますので、ご取材いただきますようお願いいたします。

【寄贈の経緯】

- ボッチャは、障害者スポーツの一つで、パラリンピックの正式種目。広島県立広島特別支援学校では、平成30年度からクラブ活動として、ボッチャ甲子園の本選出場を目指して練習を積み重ねている。
- ボッチャクラブの活動が活発に行われていることや(株)ユニコーンの重度障害者用意思伝達装置「miyasuku」を同校で活用しているご縁もあり、製品開発を行うにあたり、同校のボッチャクラブの生徒や教員で実際に使用する場を複数回設け、製品改良のアイデアを提供。その後、改良を経て製品化につながった。
- このランプは、同社の保有技術である視線による環境制御技術を応用し、広島県の「令和3年度健康・医療関連産業創出支援事業費補助金」を活用して開発、商品化したもので、今後、量産される製品の1号機を寄贈されるものです。



1 寄贈式

- (1) 日 時 令和4年3月16日(水) 15:00～16:00
- (2) 場 所 広島県立広島特別支援学校 1階 総合教室(広島市安佐北区倉掛二丁目47-1)
- (3) 寄贈者 株式会社ユニコーン 代表取締役社長 中島 勝幸(なかしま かつゆき)
- (4) 出席者 広島県立広島特別支援学校 校長 大元(おおもと) みどり
同校肢体不自由部門 ボッチャクラブ
顧問 教諭 長尾 崇洋(ながお たかひろ)、教諭 川原 由美(かわはら ゆみ)
高等部3年 増岡佑嘉子(ますおか ゆかこ)、高等部2年 中山 理多(なかやま りた)
高等部2年 阿部 光汰(あべ こうた)、高等部2年 井川 莉桃(いかわりみ)
高等部2年 柿内 風澄(かきうち ふうと)、高等部1年 宮尾 宝(みやお たから)
- (5) 次 第 ①寄贈者挨拶(中島社長)、②贈呈、③謝意(大元校長)、④記念撮影、
⑤同校ボッチャクラブ生徒によるボッチャ試技

2 寄贈品

ボッチャのランプ装置「miyasuku ランプ」 1台

3 製品の概要

- (1) 特 徴 視線入力・スイッチ入力で操作可能、ネットワーク経由で遠隔操作に対応。軽量。競技者が視線・スイッチにより、ランプの向きや投球するボールのリリース位置(高さ)をコントロールできる。
- (2) サイズ 縦232cm×横90cm、重量 約10kg
- (3) 生産開始日 令和4年4月1日
- (4) 販売価格 600,000円(税別)



4 寄贈者概要

株式会社ユニコーン（広島市安佐南区西原四丁目 14-13, 電話：(082)850-1020)

代表者：代表取締役社長 中島 勝幸, 代表取締役 小林 秀雄

事業内容：通信, 計測, 情報処理機器に関するシステムの開発, 設計及び販売

主な製品：視線で操作する重度障害者用意思伝達装置「miyasuku EyeConSW」

5 寄贈にあたってのコメント

広島県の「令和3年度健康・医療関連産業創出支援事業費補助金」を活用し、視線・スイッチ入力で操作可能な「ボッチャ」競技用ランプを開発しました。広島特別支援学校の先生をはじめ、ボッチャクラブのみなさまには、試作品のテストや製品改良のアイデアなどのご協力をいただきました。

そして、この度製品化することができましたので、みなさまへの感謝の気持ちを込めて、miyasukuランプを寄贈させていただきます。

6 広島特別支援学校の商品開発への協力

試作品のテストへの協力、製品改良のアイデアを提供した。

様々なアイデアを提供するなかで、次のような改良が行われた。

- ・使いやすい操作スイッチは一人一人異なるため、外部端子で接続して、様々な形態のスイッチで操作できるよう改良された。
- ・ボールの飛距離が重要で、コートのエンドラインまで、ボールが転がるようスロープの角度や形状が改良された。

7 ボッチャについて

ボッチャは、重度脳性麻痺者もしくは同程度の四肢重度機能障害者のために考案されたスポーツで、パラリンピックの正式種目です。赤・青のそれぞれ6球ずつのボールを投げたり転がしたりして、ジャックボール（目標球）と呼ばれる白いボールに、いかに近づけるかを競います。自らボールを投げることができなくても、勾配台（ランプ）を使い、自分の意思（ランプの向きや角度）を競技アシスタントに伝えて、投球してもらうことで参加することができます。

パラリンピック等の国際大会では、障害の程度により、BC1～4の4つのクラスがあり、日本独自の「オープンクラス」として、座位・立位の部の2クラスもあります。

* なお、今回の寄贈品である、視線等で操作する勾配台（ランプ）を使う競技クラスは、公式ルール上現時点はありませんが、これまで参加できなかった方もオンラインで参加することも可能であり、競い合うスポーツとして楽しんでいただくために開発されました。

※ご取材いただける場合は、お手数ですが、このFAX返信用紙を、3月15日(火)12時までに、
ご送信いただきますようお願いいたします。

広島県商工労働局医工連携推進PT行 (担当：井上，三原)

FAX：082-223-2137

～ 広島県立広島特別支援学校の協力のもと県内企業が開発 ～
株式会社ユニコーン 視線で操作する「ボツチャ」ランプ
(勾配台)の寄贈について

令和4年3月16日(水)15:00～ 広島県立広島特別支援学校 1階 総合教室

貴社名： _____

ご所属： _____

お名前： _____

ご参加人数： _____

TEL： _____ FAX： _____

当日のご連絡先： _____

メールアドレス： _____

機材： スチール ムービー

囲み取材の希望の有無 あり なし

個人情報の記入にあたって

ご記入いただきました個人情報は、個人情報保護法の主旨に照らして、適切かつ慎重に取扱います。

広島特別支援学校が協力して開発した、視線で操作が可能な

「ボッチャ」ランプの寄贈を県内企業から受けます！



ボッチャは、パラリンピックの正式種目で、広島特別支援学校では、平成30年度からクラブ活動として、ボッチャ甲子園の本選出場を目指して練習を積み重ねています。

今年度、広島県商工労働局医工連携推進プロジェクトチームから、視線で操作が可能な「ボッチャ」ランプ（勾配台）を開発している県内企業（株式会社ユニコーン）の紹介があり、商品化に向けた試作品のテストに協力したり、製品改良のアイデアを提供したりしました。

この度、製品化した「ボッチャ」ランプを寄贈いただくことになり、その寄贈式を行います。ぜひ取材にお越しください。

1 寄贈式

日時 令和4年3月16日（水）15:00~16:00

場所 広島県立広島特別支援学校 1階 総合教室（広島市安佐北区倉掛二丁目47-1）

寄贈者 株式会社ユニコーン 代表取締役社長 中島 勝幸（なかしま かつゆき）

寄贈品 ボッチャのランプ装置「miyasuku ランプ」1台

内容 寄贈者挨拶、贈呈、謝意（校長）、記念撮影、生徒によるボッチャ試技

参加者 広島県立広島特別支援学校 校長 大元 みどり（おおもと みどり）

肢体不自由部門 ボッチャクラブ

顧問 教諭 長尾 崇洋（ながお たかひろ）、教諭 川原 由美（かわはら ゆみ）

高等部3年 増岡 佑嘉子（ますおか ゆかこ）、高等部2年 中山 理多（なかやま りた）

高等部2年 阿部 光汰（あべ こうた）、高等部2年 井川 莉桃（いかわ りみ）

高等部2年 柿内 風澄（かきうち ふうと）、高等部1年 宮尾 宝（みやお たから）

2 その他

(1) 「ボッチャ」ランプ（勾配台）について

ボッチャは、重度脳性麻痺者もしくは同程度の四肢重度機能障害者のために考案された障害者スポーツの1つです。赤・青のそれぞれ6球ずつのボールを投げたり転がしたりして、ジャックボール（目標球）と呼ばれる白いボールに、いかに近づけるかを競います。自らボールを投げることができなくても、ランプ（勾配台）を使い、自分の意思（ランプの向きや角度）を競技アシスタントに伝えて、投球してもらうことで参加することができます。

(2) ランプの特徴など

「miyasukuランプ」は、競技者自らが視線・スイッチ入力でランプを操作し、投球することが可能です。ネットワーク経由で遠隔操作もできるため自宅から参加することもできます。

(3) 商品開発への協力

- ・一人一人が使いやすい操作スイッチを使って競技できるよう、外部端子を設け、様々なスイッチを接続できるよう提案しました。
- ・ボールがコートのエンドラインまで転がすことができるよう、スロープの角度や形状の改良を提案し、投球の幅を広げることができました。



試作品テストの状況



寄贈品